

2024年3月27日
株式会社三菱UFJ銀行

東京センチュリー株式会社と「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}（以下、当行））は東京センチュリー株式会社（代表取締役社長 馬場 高一^{ばば こういち}（以下、同社））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション^{LM}（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPTs）を設定し、金利などの貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

【本ローンにて設定する SPTs】本ローンにおいては SPTs 達成状況に応じて利率が変化します。

- ① 電動車（EV、FCEV、PHEV、HV）比率
- ② 航空機事業（ACG）の省燃費機材比率（省燃費機材の資産残高比率）
- ③ 中古 PC の年間販売台数

同社は、「高い専門性と独自性を持つ金融・サービス企業として、事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献」することを経営理念に掲げ、10年後・20年後の未来を想定し、必要とされる金融・サービスの創出を志向するバックキャスティングのもと、サステナビリティ経営を推進しています。その中で、サステナブル・ファイナンスによる資金調達強化を目的として、「サステナブル・ファイナンス・フレームワーク」（以下、同フレームワーク）を策定しており、同フレームワークに基づいて「サステナビリティ・リンク・ローン」による資金調達を行うことを決定しました。

【本ローンの概要】

契約締結日	2024年3月26日
実行日	2024年3月29日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
コ・アレンジャー	農林中央金庫
貸出人	国内金融機関

また、本ローンでは、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPTs の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上